

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.185 (2009年3月12日)

発行人・川越敏良 編集人・小松義明

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくろう

3月13日(金) 県公務労協春闘総決起集会 18時(自治労プラザ)

15日(日) 2009春闘ふれあいファミリーデー10時(吉野川遊園地)

当面の日程

3・8国際女性デー徳島集会を開催!



3月8日(日)13時より、JR徳島駅前において約50人がビラ配りをし、街宣車からは3.8国際女性デー大寺実行委員長 乾元参議院議員・AWA女性問題研究所 部落解放同盟・齒朶山書記長 アイ女性会議・高開代表 小浜阿南市議 ストップDVサポートの会・東條代表 連合徳島・富田女性委員長がそれぞれ演説をした。その後、それぞれバラの花を手にシュプレヒコールをしながら阿波観光ホテルまでアピールウォークをした。

続いて、14時から阿波観光ホテル5Fにて約100人が参集し、3.8国際女性デー

徳島集会を開催した。まず始めに大寺実行委員長から3.8国際女性デーのなりたちや男女平等についてあいさつをした。来賓には川越連合徳島会長、高井美穂衆議院議員、吉川沙織参議院議員があいさつされた。

記念講演には、ワーキングウィメンズネットワーク(WWN)の越堂静子さんを招き「賃金の男女平等をめざして(WWNの国際活動でミラクル)」という演題で講演をいただいた。

越堂さんたちは、ほとんど自費でNGO活動をしている。そして、いくつものミラクルを起こしている。

2003年7月NewYork国連で発言
女性差別撤廃委員会(CEDAW)の勧告を受けて住友電工原告勝利和解
2006年6月住友電工原告参議院国会で参考人、日本で初めて間接差別明記。その後2007年9月WWNはILO総会へ参加し実態報告書提出
ILOから日本に勧告(1.同一価値労働



同一賃金の法改正を要請 2.客観的な職務評価の実施)~その中でWWNの報告と提案が6回も引用された
2008年11月ジュネーブ国連にてCEDAW作業部会へ実態報告
2008年11月日本からの初めてのNGOがパリOECD(経済協力開発機構)のヘッドと会合

「同じように仕事をこなしながら格差が生じてしまう間接差別の問題は、現在の非正規雇用の問題にも通じている。今年7月はNewYorkへ行き間接差別である雇用管理区分の削除、同じ価値の仕事には同じ賃金を法律に明記する2点についてアクションする。みなさんも一緒にNewYorkへ行きましょう」と締めくくっ

た。会場からは数名の質問・意見がありそれぞれに丁寧に答えて下さり、参加者は熱心に聞き入っていた。

その後、全水道岩崎さんより提案されたアピールを全体で採択し、閉会した。

